

質問者



福岡 知一 議員

問 介護サービスについて

① 今回、「介護保険がかわりました」の小冊子が全家庭に配布されました。その中に訪問介護の項目でいままでの総合型がなくなり、身体介護と生活援助に改正されている。サービス料も一緒に改正されたのか。

② ケアマネージャーが介護家庭を訪問することになった。訪問の際ケアマネージャーであることを証明できるものを持参させることと、訪問には同一人物が行き変更しないようにし、寝たきりの人に機能回復訓練を教えるはどうか。

③ 最近、訪問介護費用の不正請求が全国的に広まっている。当町としてはどのように対処されているのか。

以上おたずねします。

答 安心して介護が受けられる体制に

答弁 白石町長

① 今回、介護報酬の改定により、身体介護は30分未満は210円から231円に引き上げ、1時間未満は420円で現状維持、1時間30分は803円から667円に引き下げられています。又、生活援助は30分以上1時間未満は153円から208円に、1時間以上は222円から291円にそれぞれ引き上げられています。

② 初めて訪問する時、利用者、家族等から提示を求められた場合、身分証明書を提示すること、他に県知事が発行する携帯用の介護支援専門員登録証明書を持参することになっています。

③ 本年度は利用者に対し介護サービスの利用内容について通知を行い、利用していないサービスが請求されていない

問 田んぼの生きものの調査を

かのチェックを行って給付の適正化に取り組みます。

全国的に田んぼの生きものの調査が始まっている。当町は水田や大小の河川・水路が多くあり調査に恵まれている。地域環境がどうなっているか、生きものの生態系と水質の良否はどうなっているかなど、多くのことを学ぶことができる。

中川原地区はEM菌を利用し河川の浄化に取り組まれている。結果はどうなのか関心が高められている。こうした調査したものを記録し、他の地域との比較する



など、住環境の改善すべき点 が明確になるため実施してはどうか。

答 調査、観測を つづけます

答弁 白石町長

町内の小・中学校では総合的な学習や、理科・生活科などの学習機会を利用し、水辺の動植物の観測など実施しており、成果が報告されています。

中川原、ひよこたん池周辺水路の生物を採取し県で調査を行っています。町単独での調査は考えていません。他に7ヶ所でEM菌を活用し河川の浄化、水質調査を行っており、気候によって変動がありますが、調査観測を行っています。

問 「子どもSOSカード」の配布を

親の一次的感情によって可愛い子どもが虐待を受け、中には死に至る悲しい事件が発生している。

こうした子ども達は我が家のことはよほどのことがない



かぎり他人には云わないと思われる。

虐待の早期発見と事故の未然防止のため全児童生徒に「子どもSOSカード」を実施してはどうか。

答 配布は考えていない

答弁 赤星教育長

町内の小・中学校の全児童生徒に、電話相談をPRするカードを配布し、虐待やいじめなどの悩みを抱えている子ども達の声を聞く活動を展開しています。

又、担任教師は日常的に観察し、早期発見に努めており今のところ配布する考えはありません。